CASBEE-建築(新築)　評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版　使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要

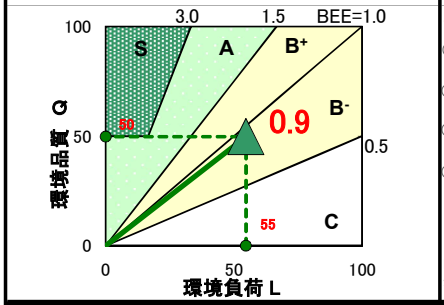
建物名称	福岡県公営住宅城浜団地	階数	地上10F
建設地	福岡県福岡市東区城浜団地	構造	RC造
用途地域	一種中高層住居地域、第二種15M高	平均居住人員	170 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年5月　予定	評価の実施日	2018年5月28日
敷地面積	4,854 ㎡	作成者	平田
建築面積	659 ㎡	確認日	2018年7月6日
延床面積	5,395 ㎡	確認者	長門

1-2 外観

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

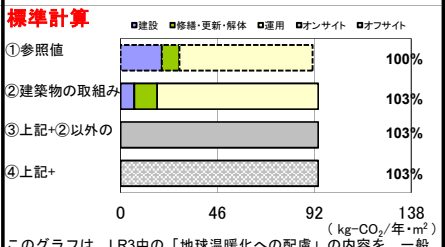
BEE =0.9 ★★☆☆☆

S: ★★★★★　A: ★★★★　B⁺: ★★★　B⁻: ★★　C: ★



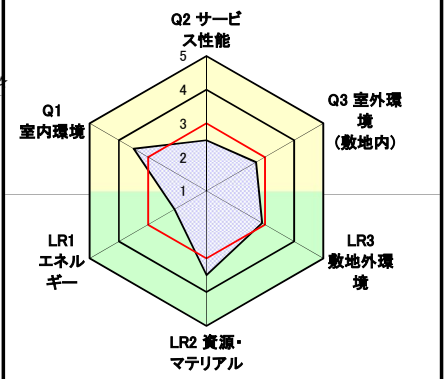
2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆　30%: ☆☆☆☆☆　60%: ☆☆☆☆☆　80%: ☆☆☆　100%: ☆☆　100%超: ☆



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

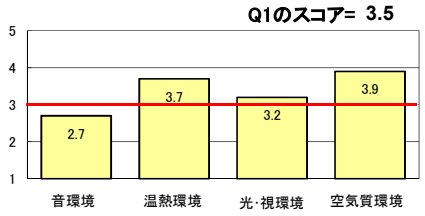
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



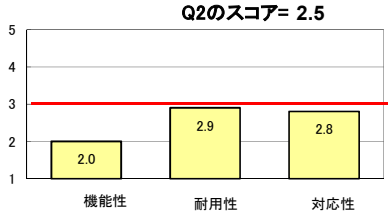
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　　Q のスコア= 2.9

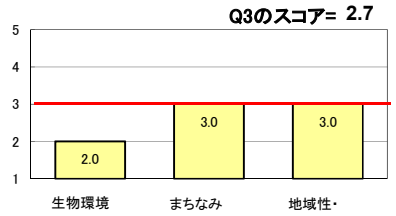
Q1 室内環境　Q1のスコア= 3.5



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 2.5

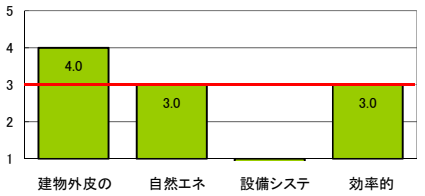


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 2.7

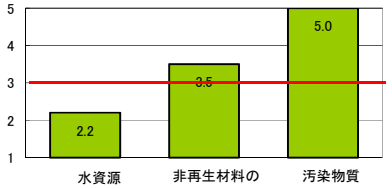


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 2.8

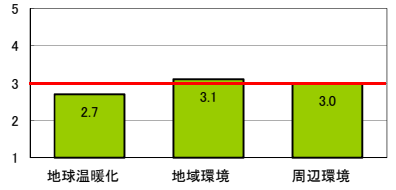
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 2.1



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 3.5



LR3 敷地外環境　LR3のスコア=2.9



3 設計上の配慮事項

総合

老朽化した公営住宅の建て替えに伴い、敷地の効率的利用、居住環境の向上を考慮した。

その他

Q1 室内環境

音環境については日本住宅性能評価等級２、空気環境については等級３となる仕様とした。

Q2 サービス性能

高齢者に配慮したバリアフリーの建物とし、日本住宅性能評価等級３を満足するように計画した。
また、維持管理への配慮は日本住宅性能評価等級２となるよう計画した。

Q3 室外環境（敷地内）

既に建て替わっている公営住宅等、周囲に調和した外観とする。
環境を考慮し、できるかぎり緑地を設ける計画とした。

LR1 エネルギー

温熱環境では日本住宅性能評価等級４となる仕様とした。

LR2 資源・マテリアル

リサイクル資材を利用する。

LR3 敷地外環境

敷地内の舗装はすべて透水性のある仕上とし、敷地外の道路側溝に流出する雨水排水量を減らす計画とする。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO_2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される